

# 生存科学研究ニュース

VOL. 13. NO.1

1998. 1. 10 発行

発行 財団法人 生存科学研究所

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

電話 03-3563-3518

## 「21世紀医療システム」研究会



西 三郎 氏  
愛知みずほ大学  
人間科学部教授

21世紀医療システム研究会の第4回が、11月17日(月)、生存科学研究所会議室で行われた。

講師は西三郎氏で、演題は「21世紀の医療システムを論じるために解明さ

れることが期待される課題」として、その「ねらい」が、事前に次のように示された。

### 課題のねらい：

内閣の最重要課題である6つの改革において「国民一人一人が自らの将来に自由な夢や目標を抱いて、個人個人の創造性とチャレンジ精神を発揮できる社会、世界の人々と分かちあえる価値を創り出すことのできる社会とすることを旨とするものです」とされている。

この目標の基本となる一人一人に「幸せで健康な生活を確保する」

ことの実現可能なシステムを論じたい。

以上のねらいに基づく西氏の演題項目は、次の通りである。

### 1. 政策論の段階

- (1) 目指す社会像論とその具体性
- (2) 目指すものと6つの改革との関連
- (3) 過去の経験

### 2. 事業実施での段階

- (1) 法制度の目的と実施との乖離
- (2) 保健医療福祉の連携
- (3) 事業報告総計の不備

### 3. 医療そのものの段階

- (1) 市民が期待する医療との乖離
- (2) 科学的根拠に基づく保健医療
- (3) 医療の質の評価

以上の項目に示すとおり、内容はきわめて多面的かつ立体的であり、長年の公衆衛生行政に携われた立場と、自らの実践活動による豊富な体験との乖離の存在に立って、それをどう克服するかについて、きわめて具体的、かつ橋本内閣の6大改革との関連など、今日的視点についても熱弁をふるわれ、司会者として時間が足りないことを大変残念に思うと同時に西氏に対しては、改めて継続的講演をお願いしたいという希望を述べた。

## 第1回平成10年度生存科学講座準備会

生存科学講座は、6月から9月まで月1回の頻度で実施されてきたが、この間の経験を踏まえ、平成10年度からの生存科学講座の本格的実施に備えて、その準備のための会が、11月19日午後6時から生存科学研究所会議室で開かれた。

出席者は次の通り。

委員長	小島 静二
委員候補	江見 康一
	津谷喜一郎
	佐藤田鶴子
	小林 芳子

第1回は、理事長挨拶ののち、自己紹介を行い、小島委員長から、委員会の構想試案が説明され、それをめぐって各委員候補から活発な意見が出された。具体的には、生存科学講座に出演を依頼したい人選りリストについて話し合いが行われ、その際のフィールドとして、①国際的視野、②女性の視点③若者からの発信④新しい高齢者像の4つについて、候補者名と、講演内容についての希望が示された。具体的には、平成10年度の年6回、1回の聴講者規模を50名とし、講座への参加を通じて、生存科学への関心と普及効果への期待が示された。

## 第4回常務理事会

平成9年度第4回常務理事会は12月4日(木)14:00~16:00まで生存科学研究所会議室で開催された。議事次第は下記の通りであった。

### 1. 報告事項

#### (1)科学技術庁関係の事項

①登記事項変更の届出について

②川崎病研究会の取扱について

#### (2)受託事業の経過報告

(3)平成9年度生存科学講座の実施状況について

(4)バイオサナトロジー学会の今後について

#### (5)基本財産運用替の報告

### 2. 審議事項

#### (1)平成10年度事業計画

①継続事業の希望について

②新規事業の希望について

③基礎論研究会研究成果

④非定住学童児の復学支援効果研究会

⑤平成10年度公開講座の計画

⑥川崎病研究会の取扱について

#### (2)内規見直しの件

#### (3)今年度末までの日程について

①常務理事会の日程

②理事会・評議員会

#### 審議の結果

(1)平成10年度の事業計画については生存科学講座以外に数案が提出され、討議の結果、次回に継続審議することになった。

(2)内規の見直しの件、各担当者が次回の理事会までに詳細案を提出することに決定。

(3)今年度末までの日程については下記のように決定された。

#### ①常務理事会

2月5日(木)午後2時~4時

#### ②理事会・評議員会

3月5日(木)午後2時~4時

## 第5回生存科学講座のお知らせ

第5回生存科学講座は会場を生存科学研究所に移し、下記の通り開催いたしますので、ぜひご参加下さい。なお、参加費は1000円ですが、生存研の会員は無料で参加できます。

### 記

日 時 平成10年1月24日(土)  
1:00~3:00  
場 所 生存科学研究所会議室  
講 師 土屋健三郎 生存科学研究所  
副理事長・前産業医科大学学長  
テーマ 科学技術の進歩と医療  
参加費 一般1000円、会員無料  
連絡先 TEL03-3563-3518 FAX03-3567-3608

ご参加を希望される方は事務局まで葉書、あるいはファックスでご連絡下さい。

## 平成9年度第3回 「公益信託武見記念生存科学研究基金」

昨年12月16日、東京・日本橋室町・三井ビル本館で本年度の贈呈式が行われ、社会福祉法人旭川荘理事長、川崎医療福祉大学長の江草安彦氏に「武見記念賞」が贈呈された。

運営委員長代行の青木 清氏が選考過程を説明し、運営委員の不破敬一郎氏より、賞状・盾・賞金が手渡された。

江草氏は受賞後、「多くの方々の支援で医療福祉の向上に努めることができた」と謝辞を述べられた。



研究所日報

- 11月17日(月) 「21世紀医療システム」研究会
- 11月18日(火) 第5回受託事業「個人毎の健康度と疾病リスクの解析に関する研究」合同会議会
- 11月19日(水) 平成10年度生存科学講座準備委員会
- 12月4日(木) 第4回常務理事会

会員寄贈図書



肝臓の救世主  
メディカルハーブ「クルクマ」  
師岡 孝次 著  
平成8年12月発行  
発行所  
(株)五月書房  
定価1,300円+税

